

F 5 ・ 6 ・ 0

平成 29 年 9 月 25 日

市内指定障害福祉サービス事業者等 代表者 殿

相模原市長 加山 俊夫
(公 印 省 略)

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について (通知)

日頃から本市の障害福祉行政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、現下の国際情勢に鑑み、北朝鮮による弾道ミサイル等が万が一、日本国内に落下する可能性も考慮し、指定障害福祉サービス事業者等におかれては、次の事項について適切に取り組まれるようお願いいたします。

なお、厚生労働省から別紙「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に取りべき行動例について」が示されましたので、併せてご確認くださいようお願いいたします。

(詳細につきましては、国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/>) をご確認ください。)

屋内だけでなく屋外での活動も含め様々な状況を具体的に想定しつつ、地域の実情に応じた具体的な対応方策について検討すること。

Ｊアラート等を通じて緊急情報が発信された際の利用者等の避難誘導等の安全確保の方策について、全職員で共通理解を図っておくこと。

以 上

健康福祉局 福祉部 障害政策課 指定・指導班

TEL : 042 - 707 - 7055 (直通)

FAX : 042 - 759 - 4395

Eメール : shougai-seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

(別紙)

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

(平成29年4月21日付け消防国第38号、消防運第24号「弾道ミサイル落下時の行動等について」を参考に、厚生労働省が作成)

1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くの建物(できれば頑丈な建物)や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて近くの建物(できれば頑丈な建物)や地下街などに避難する。周囲に避難できる建物や地下街などがない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

以 上